

## 三九郎と三つの恵み

1月14日(土)に堂町・西町の合同三九郎が行われました。確か一昨年は、子どもたちが松集めをし大人だけでお焚きあげを行いました。昨年は中止。やっと今年になってフル企画で実施することができました。

家々の前に松飾りやしめ縄、だるま等が置かれています。それを子どもたちが集めて回る光景、リヤカーに積んで運ぶ様子、子どもたちが並んで小路を歩く姿を見ていると何だか懐かしくも思えるなんともいえない雰囲気漂っていました。沢村公園で組み立てられた三九郎は、他町会の物と比べれば小ぶりですが近年まれに見る立派なものでした。

いよいよ火入れです。代表児童が火を入れると次第に火勢が増し、三九郎は紅蓮の炎に包まれます。



しばらく燃えさかる炎を皆で見つめます。火の勢いが弱まったところで各自持参の繭玉を炎にかざします。それでも熱くてたまりません。悪戦苦闘しながら何とか目的を達成できたかな。サツマイモも登場してうまいタイミングで火中に。また絶妙なタイミングで取り出されたからでしょうか、これが抜群の味でした。

今回の堂町・西町の合同三九郎は、大成功でした。子どもたちが大人になったとき心のどこかに「原風景」と

なって残っていることを願ってやみません。子供会役員の皆様・町会役員の皆様・保護者、そして子どもたちさらに松飾り等提供くださった皆様(人の恵み)、曇り空ながらなんともってくれた天気(天の恵み)、三九郎を実施した場所(地の恵み)、この三つの恵みに感謝しかありません。ありがとうございました。

